

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使セイコウ・インカラコより

日本の市民・メデアアの皆さまへの公開書簡

～ベネズエラの平和と安定のために～

2019年1月28日、東京にて

日本国民の皆さま
日本のメデアア代表者の皆さま

去る1月23日、ベネズエラの首都カラカスで開かれた野党派集会で、フアン・グアイド国会議員が自ら「ベネズエラの大統領代理」に就任すると宣言しました。日本では、さながらグアイド氏に国民の支持があり、国際社会に支援されているかのように報道されるケースが多くみられます。しかしこれは偏った見方であり、実態を伝えたいとは言えません。

この件に関する歪曲された報道は、ベネズエラの政治危機をおり、最悪の場合には米国の軍事介入をも招きかねないものです。

そのため、ベネズエラで起きていることの真実を皆さまにお伝えする必要があります。私たちは考えています。皆さま一人ひとりの眼差しがベネズエラに平和をつくることに繋がります。日本のメデアアや友人の皆さまはその重要な要素になると信じているからです。

まず、グアイド議員の暫定大統領就任宣言が憲法に反していることを理解する必要があります。グアイド議員は憲法233条等に基づき暫定大統領就任を宣言しましたが、この条文は、大統領の欠陥とは大統領の死亡、辞任、最高裁判所により命じられた罷免、身体的又は精神的な障害、職務放棄、その任期に於いての国民投票での取り消しであると明確に述べています。これまで、マドゥロ大統領がこの条件に該当したことはありません。

マドゥロ大統領は今年1月10日、法令に則って大統領就任を宣言しています。この事実を否定することは、ベネズエラの憲法を侵し、国際法及び国内法を無視し、国際関係において危険な前例を作ることになります。そればかりか、国内に暴力的な事態を引き起こし、米国の軍事介入を正当化する可能性さえあります。

ベネズエラのこのような政治対立を前に、メキシコ、ウルグアイ、カリブ共同体 (CARICOM) 加盟国 (15 カ国・地域) やバチカンは、ベネズエラで対話を実施し双方が合意する解決策を模索すべきであり、それが平和と民主主義への唯一の方法であると呼びかけています。

マドゥローロ大統領はこれまででも、繰り返し対話の必要性を訴えてきました。2017 年末には、ドミニカ共和国等の尽力を得て対話プロセスが実施されたことを忘れてはなりません。この時には事前合意に達しましたが、最終的に野党側は署名しないことを決定しました。一方、マドゥローロ大統領は事前合意に含まれる内容を一つずつクリアし、そうして 2018 年 5 月 20 日の大統領選挙が行われたのです。選挙には野党から 2 名が立候補し、9 百万以上の有権者が投票しました。

政治的な解決の道は、グアイト議員の就任宣言、並びに米国や米国の影響を受けたラテンアメリカの複数国がグアイト議員を承認したことにより、壊されてしまっています。対話に向けた努力が支持されるべきところ、このような行方は地域に危険な前例を作るものです。

メデアシアには国際社会がグアイト議員を支持しているかのような報道パターンが見られますが、実際にグアイト議員支持を表明にしたのは米国の影響下にある一部の国家のみです。一方、マドゥローロ大統領をベネズエラの法令に則った大統領だと明言している国だけでも 30 カ国以上あり、さらに多数の国々が、内政不干渉、主権・独立・民族自決の尊重などといった国際関係の原則を重視して、双方の対話を支持するとしています。

グアイト議長長の宣言に関して各国の姿勢に差があることは、1 月 24 日の米州機構 (OAS) の会合でも明らかになりました。グアイト議長を大統領として受け入れるとしたのは、加盟 34 か国中 16 か国のみだったのです。また、1 月 26 日にベネズエラ情勢をめぐって開催された国連安保理会合では、ベネズエラの政権交代を試みる米国の孤立が浮き彫りになりました。

なぜ国際社会は、グアイト氏の暫定大統領就任ではなく対話を支持する傾向にあるのでしょうか？ その背景には、情勢の不安定化を図る米国の動きに対する警戒感があると指摘しなければなりません。

ベネズエラにおけるクーデターを公然と呼びかけたことでマドゥローロ大統領

が米国との断交を発表した際、米國務省はすぐさま、ワドゥエーロ政権を認めていないので断交に応じないと反発、そして有事の際には妥当な行動を取るだろうと宣言し、軍事的行動を匂わせました。

グアイト議員の無責任な行動は、ベネズエラを政治危機に陥れるクーデターの企てというべきものであり、米国の軍事介入を招く状況を引き起こしかねません。このような例は、イラク、リビア、シリア等、近年多数見られます。米国防軍の機密文書「マスターストローク」に読み取れるように、ベネズエラはこれらに連なる新たな事例だといえるでしょう。

改めて申し上げます。平和と安定をもたらす唯一の方法は、包括的で根気強い対話です。国際社会の大半が支持するのはこの対話の道であり、メデアアの一つの記事が、この道筋を後押しするのです。

グアイト議員の宣言に関する一方的な報道の広がりには、ベネズエラ国民や国際社会が望んでいる対話への道を妨げる可能性があります。

ベネズエラにはワドゥエーロ大統領の現政権に反対する人々もおおり、彼らはその考えを表明する権利を行使してきました。しかし一方で、6百万以上もの有権者が大統領選挙で与党を支持したということも、忘れてはなりません。もしクーデターが推進されれば、その後ベネズエラの地には何がもたらされるでしょうか？ 平和と安定はこのようにして達成されるのでしょうか？

日本の市民の皆さまとメデアアの皆さまには、ベネズエラが今直面する政治の危機を乗り越えられるように、真実、そして責任ある報道の重要性をみつめ続けていただきたいと思います。

敬具

(署名)

セイコウ・イシカワ

大使

Cuando el Presidente Maduro anunció el rompimiento de relaciones con los EEUU por su abierto llamado al golpe de estado en Venezuela, inmediatamente el Departamento de Estado, en una clara señal de soberbia, declaró que no reconocen al Presidente Maduro y por lo tanto no acatarían el rompimiento de relaciones y que tomarían acciones apropiadas en caso de algún incidente (un eufemismo que implica una acción militar).

La irresponsable acción del Diputado Guiado es un intento de golpe de estado que conlleva a una profundización de la crisis política en Venezuela, pudiendo desencadenar una situación que justifique la intervención militar de los EEUU. Ejemplos como estos abundan en la historia reciente (Iraq, Libia, Siria, etc.) y el caso de Venezuela es uno más, cuya evidencia se puede leer en el documento confidencial del Comando Sur de los EEUU llamado "Masterstroke".

Reiteramos que la única manera de lograr la estabilidad y la paz es mediante un dialogo incluyente y persistente. Este es el camino que apoya la mayoría de los países de la comunidad internacional y que cada medio de comunicación debería fomentar.

El hacerse eco de una noticia desvirtuada sobre la proclamación del Diputado Guaidó implica perturbar ese posible camino al dialogo que tanto el pueblo de Venezuela como la comunidad internacional desea en estos momentos.

En Venezuela, existen personas que se oponen a la actual administración del Presidente Maduro y han gozado del derecho a manifestarlo, pero hay que reconocer también que más de 6 millones de personas votaron por el chavismo en las últimas elecciones presidenciales. Si se llega a apoyar el golpe de estado en Venezuela, ¿que vendrá después de eso? ¿Alcanzaremos la paz y la estabilidad con ello?

A todos los ciudadanos de Japón y a los medios de comunicación, los invito a valorar la verdad y la importancia de difusión con criterio de responsabilidad y de veracidad; como una garantía más para superar la actual crisis política en Venezuela.

Atentamente,


Seiko Ishikawa
Embajador

